


クラス	専門演習 102	担当教員	佐藤 慎一
	テーマ	学習・教育・ビジネスにおける ICT 活用を考える	
	著書・論文 研究課題等	共著・論文：「学校間交流学习をはじめよう」日本文教出版 2004 「実践型学習のための学習環境デザインとその評価」、CIEC 2007 「SNS に蓄積された実践型学習の記録を閲覧するためのインタフェースの提案と評価」ヒューマンインタフェース学会論文誌 2008 “Practice of Promoting Reflection in Problem-based Learning by Using Social Media and its Viewer”, 2010 研究課題：(1) 学習・教育における ICT 活用 (2) インタフェース開発	

ゼミナール概要

キーワード：ICT、学習科学、教育学、ソーシャルメディア

目的、内容、方法等：

ICT（情報通信技術）はビジネスや一般家庭において広く活用されるようになり、もはや技術者のみの道具ではないことは言うまでもないでしょう。しかし、ICT そのものは、多くの場合、目的そのものではなく、目的を達成するための手段の1つです。従って、本ゼミでは「ICTの効果的な活用」は共通のテーマとしながらも、「何のためのICT活用か？」という点については、各自で考え、独自のテーマ設定を行ってまいります。研究実施計画についても、決して教員からの指示ではなく、皆さん自身で立案し、実施してまいります。

■ 自らの体験・考え・主張を論理的に表現する

言葉にして伝えるということは基本的なスキルであり、裏付けをしっかりとした上で、論理的に表現・主張することは特に重要です。どのようなテーマ・課題で活動していくにしても、共通に必要なスキルです。最終的なレポート・論文はもちろんのこと、活動過程で各種文書を提出してもう場合にも、この点を常に意識し、飛躍のない、論理的な文書を執筆することを重視します。

■ 各種メディアに対する知識・理解を深め、表現や活動方式の幅を広げる。

ソーシャルメディアの普及等、ネットワークを通じて多くの人が繋がることができるようになり、その結果、ビジネスの方法にまで影響を及ぼしています。各種のメディアを利用するための技術的な障壁も低くなり、個人でも様々なことを行うことが可能です。こうした中で、いくつかのメディア・ツールを実践的に活用し、その特性に対する理解を深めると同時に、各自の目的達成のために有効活用できるかどうかを吟味します。

■ 学習・教育方法に関する理解を深める

教育学や学習科学と呼ばれ、人の学ぶ過程を分析したり、教育・学習目標をより良く達成することを目指したりする分野があります。こうした分野でのICTの活用・適用の事例を取り上げ、目的達成のための道具として効果的に活用していくためのプロセスについて学びます。あくまでも目的を達成することが重要となるため、ICTの活用が効果的ではない場合もありえます。こうした事例にも触れながら、ICT活用について、あらゆる視点から考え、各自のテーマがより明確なものとなるよう検討していきます。

授業計画（スケジュール）：

各種のメディア・ツールを体験的に活用しながら、単に使い散らかすだけでなく、その特性をまとめ、理論と照らし合わせて考察するということを繰り返していきます。これらの過程を文書としてまとめていく中で、論理的な思考力、発進力を高めていくことを目指します。

ICT・メディアを活用するためのフィールド、体験の場は、各自の関心領域を考慮しつつ、必要があれば多くのフィールドを有する他ゼミとも連携を図ることも考えます。

使用テキスト

特に指定しません。適宜、資料配布・参考文献提示等を行います。

担当教員からのメッセージ

自分でテーマを決め、それをやり抜くには、考えることを諦めない粘り強さが必要です。新しいことを志す場合には、時には非効率と思われる作業も伴います。物事が安易に進むとは考えず、困難や苦労には当然ぶつかるものと覚悟し、それらを楽しむくらいの気持ちで取り組んで下さい。